

平成 21 年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

1. 共同利用種目 (該当種目にチェック)

- 特定共同研究(A) 特定共同研究(B) 特定共同研究(C) 一般共同研究
 地震・火山噴火予知研究 施設・実験装置・観測機器等の利用
 データ・資料等の利用 研究集会

2. 課題番号または共同利用コード 2009 - W - 05

3. プロジェクト名、研究課題、集会名、または利用施設・装置・機器・データ等の名称

和文: プチスポット研究集会: 海洋プレートおよび上部マンツルの構造進化解明に向けて

英文: Petit-spot symposium: Implications for the structure and evolution of oceanic plate and underlying mantle

4. 研究代表者所属・氏名 独立行政法人海洋研究開発機構・阿部なつ江

(地震研究所担当教員名) 馬場聖至

5. 利用者・参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	利用・参加内容または施設,装置,機器,データ	利用・参加期間	日数	旅費支給
平野 直人	東北大学東北アジア研究センター・助教	集会講演者・コンピーナー	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	○
馬場 聖至	東京大学地震研究所・助教	集会講演者・コンピーナー	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
阿部 なつ江	海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域・研究員	集会講演者・コンピーナー	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
藤本 博己	東北大学地震・噴火予知研究観測センター・教授	集会講演者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
日野 亮太	東北大学地震・噴火予知研究観測センター・准教授	集会講演者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
芳野 極	岡山大学地球物質科学研究センター・准教授	集会講演者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	○
三部 賢治	東京大学地震研究所・助教	集会講演者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
森重 学	東京大学大学院地球惑星科学専攻・大学院生	集会講演者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
町田 嗣樹	東京大学海洋研究所・教務補佐員(現・早稲田大学・助手)	集会講演者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
藤江 剛	海洋研究開発機構・地球内部ダイナミクス領域・技術研究副主任	集会講演者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
富士原 敏也	海洋研究開発機構・地球内部ダイナミクス領域・技術研究主任	集会講演者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
山下 幹也	海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域・技術研究副主任	集会講演者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
杉岡 裕子	海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域・技術研究主任	集会講演者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	

志藤 あずさ	海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域・研究員	集会講演者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
川田 佳史	海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域・ポスドク研究員	集会講演者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
高橋 亜夕	東京大学大学院地球惑星科学専攻・大学院生	集会講演者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
山本 順司	京都大学・助教	集会講演者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	○
山野 誠	東京大学地震研究所・准教授	集会講演者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
中西 正男	千葉大学・准教授	集会講演者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
川勝 均	東京大学地震研究所・教授	集会講演者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	1	
濱元 栄起	埼玉県環境科学国際センター・研究員	要旨提出	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日		
高橋 栄一	東京工業大学・教授	要旨提出	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日		
小平 秀一	海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域・上席研究員	集会参加者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	1	
多田 訓子	海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域・技術研究副主任	集会参加者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
伊藤 亜紀	海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域・技術研究主事	集会参加者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
瀬野 徹三	東京大学地震研究所・教授	集会参加者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	1	
行武 毅	東京大学・名誉教授	集会参加者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	1	
本多 了	東京大学地震研究所・教授	集会参加者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	1	
平田 賢治	気象庁気象研究所・主任研究官	集会参加者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
平賀 岳史	東京大学地震研究所・助教	集会参加者	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2	
大木 聖子	東京大学地震研究所・助教	集会参加者・広報	平成 21 年 11 月 30 日～12 月 1 日	1	

6. 研究内容 (コンマ区切りで3つ以上のキーワードおよび400字程度の成果概要を記入)

キーワード：プチスポット、北西太平洋プレート、リソスフェア/アセノスフェア境界、マントル捕獲岩

北西太平洋プレートに見つかった火山「プチスポット」は、既存の火山活動では説明できない新種の火山である(Hirano et al., 2006)。プチスポット研究グループによる総合研究では、北西太平洋におけるプチスポット活動域を重点的に、地震観測、電磁気観測、重力・地形・地磁気観測を実施し、岩石学的・地球化学的・岩石物性学的な分析・解析を行っている。採取試料の岩石物理化学的研究から得られる地下情報と、海域観測により得られる地球物理学的データとを照合・解析することで、マントル対流の上部熱境界層という重要な役割を担う海洋プレート(リソスフェア)の構造、およびアセノスフェアの実態解明を目指している。本集会では、2005年度より開始した10回のJAMSTEC 深海調査研究成果を中心得られた成果を持ち寄り、今後の研究活動方針を議論した。また、各分野で関連する研究を実施する方々に、発表を依頼し、議論に加わっていただいた。集会の成果は、講演要旨集に集会議論のまとめを加えた報告書冊子(英文)として印刷し、関連方面に配布している。(添付資料参照)

7. 研究実績報告 (公表された成果のリスト*¹または2000～3000字の報告書)

(*¹論文タイトル、雑誌・学会・セミナー等の名称、謝辞への記載の有無、ポイント数、電子ファイル添付のこと)

研究集会報告書 (添付 ; 謝辞記載有り 5) 「Petit-spot Workshop 2009: Implications for the structure and evolution of oceanic lithosphere and underlying mantle」 参照